

ホホバ 頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

ようやく暖かい日差しも増えて、春に向け、くすみのない明るい肌へ、というこの時季。今回は、いつもお使いのホホバについて意外によく知らないまま、という方の為に、ホホバの持つ特性や、素晴らしい力をご紹介します。

ホホバ美容液って どういうもの？

ホホバがお肌に良い、というのは皆様ご存じの通りです。

しかし、ホホバの何がお肌に良いのか、「ホホバ」とは、そもそもどんなものなのかは、意外に知られていない様です。

純植物性で、余計な成分などは入



れていない、自然派の美容液だからお肌に安心、と思っっている方が多いようですが、ホホバの持つ力はそれだけではありません。

お肌に潤いを 閉じ込める働き

お肌は加齢と共に、水分を蓄える力が衰えて行きます。

それに加えて皮脂の分泌も減り、

お肌のバリア機能が十分に働かず、肌表面の水分量がさらに奪われ、弾力を失ってシワやたるみが出てきてしまいます。

ホホバは、不足した皮脂を補い、お肌のバリア機能を回復させると共に、お肌を柔らかく保ち、シワやたるみを防いでくれます。

さらに、優れた浸透力でお肌の奥まで届き、正常な皮脂の分泌を促してくれる働きがあるのです。

髪やお体全身に 幅広くご利用を

お顔や髪だけでなく、全身のお肌のお手入れにも非常に役立つホホバ。冬のお肌の乾燥対策にはもちろん、年間を通して、老若男女を問わずお肌のトラブル全般に、ご利用いただけます。

お肌や髪に良いという ホホバってどんな物？

オリーブオイルのオリーブや、ツバキ油のツバキはわかるけど、いつも使っているホホバってどんなもの？

今回は、そんな疑問にお答えして、ホホバの特徴について詳しくご説明します。

◆驚異的な生命力

ホホバとは、メキシコやペルー等の南米や、アメリカ西部の半砂漠地帯に自生する灌木。

過酷な環境下でも樹齢は二百年にも達し、成長が遅いため、樹齢十年でやっと種子が実ります。

昼間は酷暑でも、夜になると気温が0度以下迄下がる様な環境に↓

↓育ちます。そのため暑い日中は液体、凍てつく夜間には固体にして、

水分を蒸発から守ります。

お届けするホホバが冬場に固まるのは、こうしたホホバ独自の性質から来る、天然自然の証です。

◆安心の親和性と安全性

ホホバの最大の魅力は、なんと↓



過酷な環境で育つホホバの実

いっても、他の化粧品にはない安全性と、人間の身体から分泌される「皮脂」にとっても良く似た成分内容による親和性。

安全性は、医療機関でもヤケド治療やアトピーの保湿等に使用され、人工心臓の潤滑油に使われる唯一のオイルという事からも立証されています。

お肌に刺激がなく、敏感肌やアトピーの方、小さな赤ちゃんや高齢の方にも安心してお使いいただけます。

◆ホホバ種子油とは

皆様にお届けしているホホバ美容液は、ホホバの種子から搾り取ったホホバ種子油と言われるもので、搾り取ったそのままのものが黄金色、↙

↙ 特殊な処理で色素を抜き取ったものが、白色透明です。
 黄金色はエステや育毛サロン等 ↘

ホホバの実

ホホバ種子



↙ で高級オイルとして、頭皮や髪・ボディケアに使われています。

◆ 奇跡のオイル

ホホバは、古くから、ホホバの自生する土地の先住民から「太陽の恵み」「金の液」と呼ばれ、肌や髪など様々な用途に愛用されてきた歴史を持っています。
 やがて、自生する土地以外にも愛用者が広がり、ホホバの栽培が ↘

↙ 行われる様になりました。

永い年月に少しずつ評判が広がり、今では全世界に多くの愛用者を持つホホバは、年齢・性別・国籍・人種を問わず世界中に愛され続ける、まさに「奇跡のオイル」です。

美容液として、または髪のお手入れに、等と専用を使う方も多い様ですが、是非とも毎日の生活の中で、かぶれや湿疹、すり傷等、お肌のトラブル全般に、ご家族皆様での愛用をお勧めします。

Q ホホバを愛用しています。

先日、初めて「美髪」を使ってみたら、とても気に入りました。

今迄はホホバをトリートメント代わりにしていましたが、美髪を使っていればホホバを使わなくても大丈夫でしょうか？



A いつもご愛用ありがとうございます。

ホホバのご利用法は、必ずこう、と決まっていますが、元々、トリートメントは髪に直接つけて髪の補修・保護をするものですから、週に一度位、ホホバで地肌のマッサージをすれば、より効果的です。

また、傷みの激しい時は毛先にホホバをつけて、洗い流さないトリートメントとしても。